

認定遺伝カウンセラーとは

- 日本遺伝カウンセリング学会と日本人類遺伝学会が共同認定する資格です。
- 平成17年4月1日より認定遺伝カウンセラー制度が正式にスタートしました。
- わが国には316名(2022年4月現在)の認定遺伝カウンセラーがおり、現在、より多くの人材が求められています。
- 認定遺伝カウンセラーは、遺伝学、遺伝医学、専門的なカウンセリングの技能や倫理的社会的問題への知識を身につけていることが求められます。
- 臨床遺伝専門医や主治医、助産師、保健師、看護師、薬剤師、臨床心理士など多くの職種と連携しながら、遺伝医療を支えています。

認定遺伝カウンセラーになるためには

全国25校の認定遺伝カウンセラー養成校(大学院)を修了し、認定遺伝カウンセラー認定試験に合格することで資格を取得することができます。(認定遺伝カウンセラー制度委員会HP <http://plaza.umin.ac.jp/~GC/>)

認定遺伝カウンセラーの活躍先

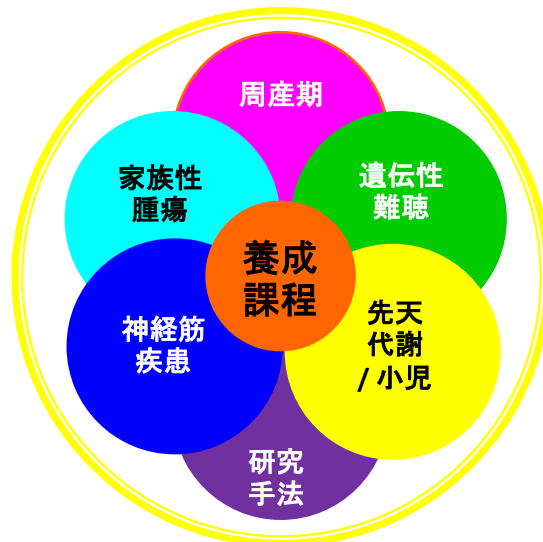
認定遺伝カウンセラーの有資格者は様々なところで活躍してします。

- 国立病院 遺伝部門
- 大学病院 遺伝部門
- 国立・私立大学 教員
- 検査会社 学術部門 など

本養成課程の特徴

医療現場に直結

★ 人とのふれあいを重視した
“臨床直結型”養成プログラム



幅広い領域の豊富な臨床経験を積むことができる養成プログラムを提供
現場で求められる研究手法も学ぶことができる

現場で活躍できる
認定遺伝
カウンセラーになろう

取得可能な学位・資格

- 修士(医学)
- 認定遺伝カウンセラー認定試験受験資格

カリキュラム概要(2022年度例)

1年次前期	<ul style="list-style-type: none"> 医学概論 生命倫理学 実験計画法と医学統計法 人体構造学 人体機能学 ゲノム医学 メディカルゲノミクスI 遺伝カウンセリングI 臨床遺伝学 医用遺伝子工学I-1 医用分子生物学I-1 	・ ・ 遺伝カウンセ ーリング実 習 修士論文
1年次後期	<ul style="list-style-type: none"> 実験動物学 人類遺伝学I 医用遺伝子工学I-2 医用分子生物学I-2 遺伝医療と社会 医療倫理演習 医療心理学 遺伝カウンセリング演習I 	
2年次前期	<ul style="list-style-type: none"> 人類遺伝学II 医用遺伝子工学II-2 臨床遺伝学演習 遺伝カウンセリング演習II 	
2年次後期		

全学年を通じて、
遺伝医学関連学会・講習会・セミナー等への参加が必須